

# ニューセーフティロード



## 特長

### 1 安全性の確保

#### 【一体化構造】

間詰コンクリート打設により、延長方向に一体化され安全性を確保。

#### 【スリップ防止】

歩道部の滑り止め凸凹加工が、スリップを防止。

#### 【安全設計】

製品本体及び間詰コンクリートで安定するように設計。(鋼材は腐食の可能性があるため、使用していません。)

### 2 施工性の向上

#### 【仮設工不要】

作業工程の減少により、工期の大幅短縮が可能。

#### 【埋戻しのスピード化】

底版上に床版を置くことで早急な埋戻しが可能になり、早期の道路開放が実現。

### 3 優れた柔軟性

#### 【様々な現場条件に対応】

様々な路肩構造物の設置スペースを確保。

#### 【流水断面の保持】

片持式支持構造であるため、河川等の流水断面を保持したまま設置が可能。

### 4 生産性の向上

#### 【トータルコストの削減】

省力化による人件費の削減。

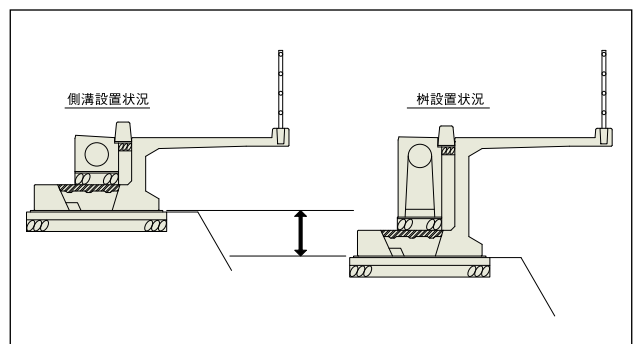
工期短縮による共通仮設費の削減。

設置後のメンテナンス不要による維持管理費の削減。

## 従来品との違い

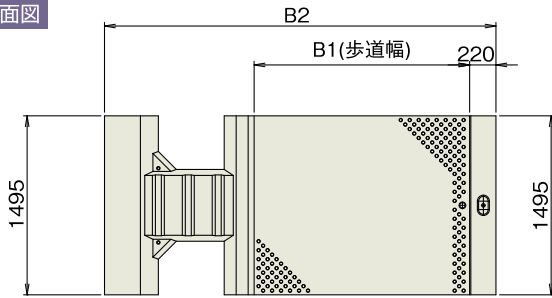
製品の底版幅及び製品高を可変式構造にしたことで、様々な路肩構造物(側溝、樹等)に応じて、予め製造することができます。

※規格の詳細については、可変対応規格表をご参照ください。



## 製品規格

平面図



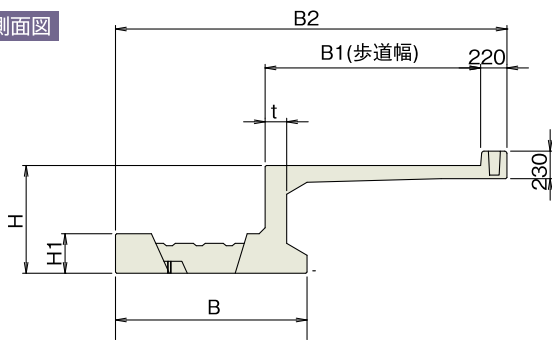
製品標準規格一覧表

(単位:mm)

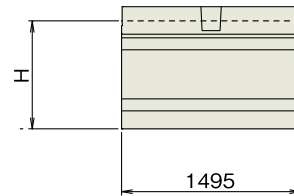
呼び名	B*	H*	B1	B2	H1	t
NSR-10	950	750	800	1670	280	130
NSR-15	1300	800	1300	2470	300	180
NSR-20	1600	900	1800	3270	330	180
NSR-25	1900	1000	2300	3970	380	200

※ 上表のB及びHは100mm単位で調整可能です。

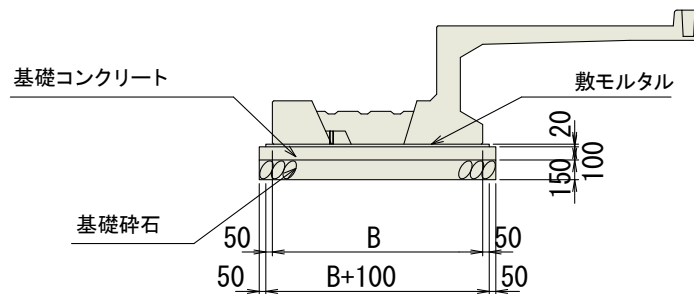
側面図



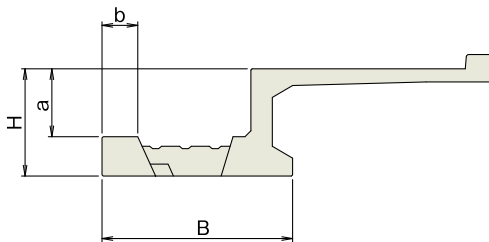
正面図



## 基礎図



## 可変対応規格



可変対応規格表

(単位:mm)

呼び名		B	H	a	b	参考重量
NSR-10	Min	950	750	470	100	1330kg
	Max	1350	1750	1470	500	2230kg
NSR-15	Min	1300	800	500	200	1980kg
	Max	1700	1800	1500	600	3100kg
NSR-20	Min	1600	900	570	300	2620kg
	Max	2000	1900	1570	700	3780kg
NSR-25	Min	1900	1000	620	350	3490kg
	Max	2300	2000	1620	750	4810kg

※ 100mm単位で調整可能です。

## 参考歩掛

(10m当り)

工種	名称	規格	単位	NSR-10	NSR-15	NSR-20	NSR-25
製品部材	ニューセーフティロード	L=1.5m	個	6.67	6.67	6.67	6.67
据付工	一日当り施工延長		m	38	38	30	30
	世話役		人	0.26	0.26	0.33	0.33
	特殊作業員		人	0.26	0.26	0.33	0.33
	普通作業員		人	0.79	0.79	1.00	1.00
	ラフテレーンクレーン		日	0.26(10t吊)	0.26(16t吊)	0.33(20t吊)	0.33(25t吊)
	諸雑費率		%	18	18	20	20
間詰工	コンクリート工	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$	m <sup>3</sup>	0.72	1.10	1.64	2.13
	鉄筋工	D13	kg	20.68	20.68	31.01	31.01
基礎工	コンクリート工	$\sigma_{ck}=18\text{N}/\text{mm}^2$ t=100mm	m <sup>3</sup>	1.15	1.50	1.80	2.10
	型枠工		m <sup>2</sup>	2.00	2.00	2.00	2.00
	砕石工	C-40 t=150mm	m <sup>3</sup>	11.50	15.00	18.00	21.00

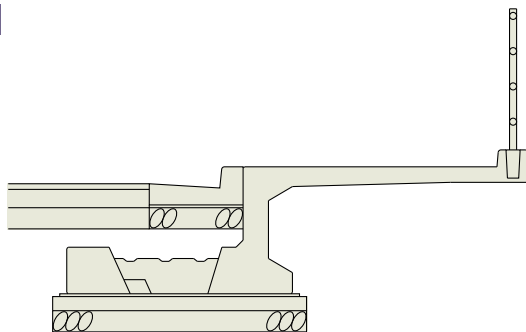
(注)

- 1.上記代価表は、平成24年度国土交通省土木工事積算基準「擁壁工」プレキャスト擁壁据付歩掛を参考として作成した独自歩掛であり、現場条件に応じて施工重機の見直しや歩掛の割り増しなどを行ってください。
- 2.本歩掛は、製品本体をフラットに据え付けた場合の歩掛です。
- 3.基礎材料は地盤状態により増減してください。地耐力不足の場合は別途ご検討ください。
- 4.諸雑費は、数モルタル、目地モルタル、伸縮目地材などの費用であり、労務費および機械賃料の合計額に諸雑費率を乗じた金額を上限として計上してください。
- 5.本歩掛は標準規格寸法におけるものであり、底版幅や製品高が変わると歩掛も変わる場合があります。

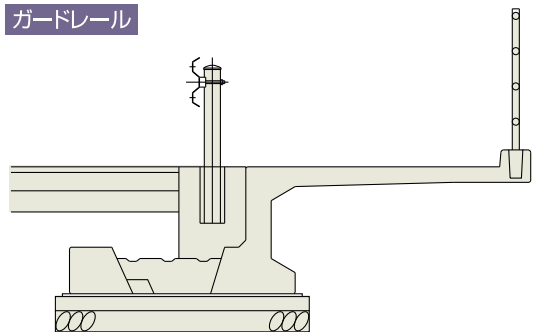
## 施工バリエーション

様々な路肩構造物に対応することが可能です。

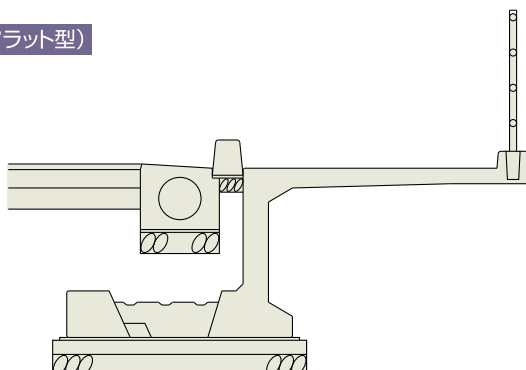
街渠



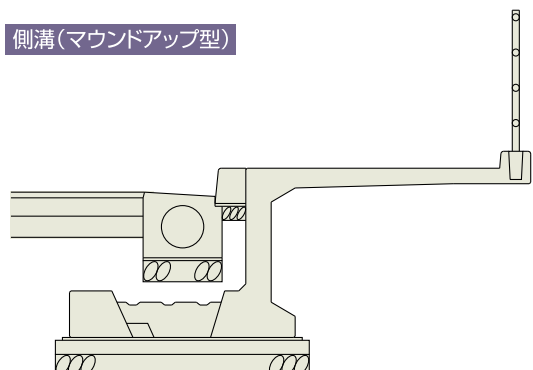
ガードレール



側溝(フラット型)



側溝(マウンドアップ型)



取扱地域 北海道 東北 関東 中部 北陸 近畿 中国 四国 九州 沖縄

カルバート・  
下水道

擁壁・  
法面保護工

道路

高速道路

水路関連

河川・海洋・  
環境

貯留・  
防災システム

通信関連

建築・宅造

特殊工法・  
新素材

参考資料

施工手順



1 基礎工



2 製品据付(1)



3 製品据付(2)



4 鉄筋工



5 間詰コンクリート工



6 埋戻し完了



7 舗装完了



8 完成